

農林水産省生産局平成22年度公募事業

バイオディーゼル燃料普及・調査事業

(団体推進事業)

全国検討会（フォーラム）開催要領

開催期日 平成23年2月23日（水）

開催場所 機械振興会館

(東京都港区芝公園3-5-8)

主催 社団法人日本農業機械化協会

後援 農 林 水 産 省

(協賛)

(独) 農研機構中央農業総合研究センター・生物系特定産業技術研究
支援センター、農業機械学会、日本農作業学会、

(社) 日本農業機械工業会、(社) 日本有機資源協会、
全国農業協同組合連合会、全国農業機械商業協同組合連合会、
全国農業機械化研修連絡協議会、全国農業機械士協議会（予定、順不同）

農林水産省生産局平成22年度公募事業
バイオディーゼル燃料普及・調査事業（全国推進事業）
「全国検討会（フォーラム）」開催要領

1. 趣旨：

社団法人日本農業機械化協会は、農林水産省生産局による農業生産地球温暖化総合対策事業の中の平成22年度公募事業「バイオディーゼル燃料普及・調査事業」（全国推進事業）を受託し、その円滑な推進のために全国検討会（フォーラム）を開催する。

当事業においては、農業生産活動に伴う化石由来燃料をB.D.F.（バイオディーゼル燃料）に置換する取り組みを推進することとしている。この取り組みには、農業生産サイドによる菜種の生産と地域への菜種油の供給を通じて「廃食油回収サイド」や「B.D.F.製造サイド」との連携を強化し、地域で生産されるB.D.F.を農業機械に継続的かつ安定的に利用することを目指したB.D.F.農業機械利用ガイドラインを作成して、地産地消型B.D.F.利用産地モデルを確立とその普及を図ることが必要となる。

このため、全国検討会を開催して当事業の啓発と産地モデルの普及を図ると共に、農業生産現場、普及、行政等の関係者及び農業機械の利用、研究、生産、流通等の関係者、並びに、菜の花プロジェクト、廃食用油回収、B.D.F.製造の関係者が一堂に会し、3年間の現地調査等に基づいて作成した「地産地消型バイオディーゼル燃料の農業機械長期・安定利用技術に関するガイドライン」の報告と検討を行い、油糧作物関連の農業機械化技術情報を収集して、当事業の推進に資するものとする。

2. 開催期日：平成23年2月23日（水）10：00～16：30

3. 開催場所：機械振興会館（東京都港区芝公園3-5-8、Tel:03-3434-8216～7、東京タワー前）

4. 主催：社団法人日本農業機械化協会（東京都中央区新川2丁目6-16、Tel:03-3297-5640）

5. 協賛：（独）農業・食品産業技術総合研究機構中央農業総合研究センター・生物系特定産業技術研究支援センター、農業機械学会、日本農作業学会、（社）日本農業機械工業会、（社）日本有機資源協会、全国農業協同組合連合会、全国農業機械商業協同組合連合会、全国農業機械士協議会（予定、順不同）

6. 内容：テーマ「菜種の生産を基軸とする地域資源循環システムの確立に向けて」

第1部：「地産地消型バイオディーゼル燃料の農業機械長期・安定利用技術に関するガイドライン」の報告
（事務局）

第2部：現地事例発表「B.D.F.製造副産物の農業的利活用技術」

1) グリセリン廃液及び廃水の有効活用技術

（山崎多代里 NPO法人知音理事長）

2) 廃水の有効活用技術

（爲廣正彦 株式会社エコERC代表取締役社長）

第3部：講演「B.D.F.の品質と農業機械利用」

- 1) バイオディーゼル燃料の品質向上と品質確認制度について
(今井伸治 社団法人日本有機資源協会専務理事)
- 2) B.D.F.による農業機械用ディーゼルエンジンの運転実績等
(高橋弘行 生物系特定産業技術研究支援センター評価試験部部長)
- 3) 新型ディーゼルエンジン車両の導入事例と B.D.F.対応技術
(細川博司 関東バイオエナジー株式会社代表取締役)

第4部：パネルディスカッション

- 地域資源循環システムの確立による B.D.F.利用農業生産の普及・推進に向けて—
(座長：澁澤 栄 東京農工大学大学院農業環境工学教授)
(パネラー：野村正次 前あいとうエコプラザ菜の花館館長、
岡田清隆 あわじ菜の花エコプロジェクト推進会議会長、
保田哲博 NPO法人INE OASA理事長)

7. 日程：

時間	内容	担当
9時15分～10時00分	受付 カタログ等展示	出展者
10時00分～10時30分	開会挨拶・主催者挨拶・来賓挨拶	協会・農水省・生研センター
10時30分～11時00分	第1部 「ガイドライン」報告	事務局
11時00分～11時35分	第2部 現地事例発表「B.D.F.製造副産物の農業的利活用技術」(1)、(2)	(山崎多代里氏) 爲廣正彦氏
11時35分～12時00分	昼食及びカタログ等情報交換	参加者
12時00分～13時00分	第3部 講演 1) B.D.F.の品質向上	今井伸治氏
13時00分～13時40分	2) ディーゼルエンジンの運転実績等	高橋弘行氏
13時40分～14時00分	3) 新型ディーゼルエンジン車両と B.D.F.	細川博司氏
14時00分～14時50分	休憩 (アンケート回収)	事務局
14時50分～15時00分	パネルディスカッション「地域資源循環システムの確立に向けて」	座長：澁澤委員長、パネラー：野村正次氏、岡田清隆氏、保田哲博氏
15時00分～16時20分		
16時20分～16時30分	閉会挨拶 (アンケート回収)	協会

9. 参加者：農林水産省関係官、現地調査関係者、事業協議会委員等、菜の花プロジェクト・搾油・B.D.F.製造関係者、都道府県（行政・普及・試験研究・研修機関等）、市町村、JA 等関係団体、大学・試験研究機関・農機製造販売事業者、農業機械士等農業者、報道関係者等

10. 参加費：無料

11. 配布資料：1) 平成22年度全国検討会（フォーラム）資料
2) 平成22年度地産地消型バイオディーゼル燃料の農業機械長期・安定利用技術に関するガイドライン及び資料編
3) 農業機械の省エネ利用マニュアル—平成21年度改訂版—
4) 平成22年度現地調査報告書

12. 参加申し込み：

ア. 申込方法：下記申込書により FAX 又は本会 HP により 2月9日(水)までにお申し込み下さい。

イ. 申込先：社団法人日本農業機械化協会（〒104-0033 東京都中央区新川 2-6-1、馬事畜産会館 6F） Tel：03-3297-5640 FAX：03-3297-5639

「バイオディーゼル燃料普及・調査事業全国検討会（フォーラム）」

参加申込書

所属（機関・団体・会社名等）

連絡先（担当者名）

Tel

〒

住所

氏名	職名	参加（○印）		カタログ等展示 希望の有・無
		午前	午後	

注1) この申込書は2月9日（水）までにFAX03-3297-5639宛送付ください。

または本会 HP (<http://nitinoki.or.jp/>) から申込めます。

2) 昼食は会館地下食堂街等で取れます。

機械振興会館案内図

